

真宗大谷派
東本願寺
shinshu Otani-ha

発行所
真宗大谷派宗務所
〒600-8505 京都市下京区烏丸通七条上る
TEL.075-371-9189(出版部)
代表者 里雄 康意
購読料(送料共)1ヵ年1000円
振替口座番号 01000-6-27404
加入者名 東本願寺出版部

真宗大谷派

検索

主な内容

2・3面◆人間といういのちの相

伝えられる願いに突き動かされて

勝見博徳さん・喜巳博さん

6・7面◆教如上人 ゆかりの法宝物をたずねて -教如上人展-

8・9面◆[連載] 御文に学ぶ

10・11面◆御修復ニュース ほか

4

2013.Apr.

【どうぼうしんぶん】

vol.665

新同朋新聞



「本当に尊いこと」と
出会う場がここにある

勝見博徳さん、喜巳博さん親子が運営する民家型デイサービス「やわらぎ 太子の家」。ケアハウス和(やわらぎ)と同じ石川県加賀市にある。民家を改装し、ここにもケアハウスと同様、お内仏を置いた。やわらぎ太子の家では、近所の子どもたちが遊びに来て一緒に過ごすことも。お内仏の前でお年寄りから子どもたちへ伝えられるもの。そこには温かな時間が流れていた(2・3面に関連記事)。

連載
人間といういのちの相

伝えられる願いに 突き動かされて

インタビュー 勝見博徳さん・喜巳博さん

人が手を合わせるものにあらずさわるといふこと

——勝見さんは、お年寄りの方が入居する「ケアハウス和（やわらぎ）」を親子で運営されていますね。

博徳 六十歳以上の方が入居するアパートタイプの施設で、二〇〇二年に開所しました。現在は七十三人が入居されています。

——施設にはお内仏が安置してあり、毎月二回のお講が開かれているとお聞きしました。

博徳 「お文講」と「やわらぎ太子講」というお講を毎月、それから五月にはやわらぎ花まつり、十一月には報恩講を勤めています。お講には、毎回三十名ほどの方が参加してくださいますね。

——施設にお内仏を安置するもともとのきっかけはどのようなものだったのですか。

博徳 私はお仏壇の塗師です。この「和」にお仏壇を置いて、お内仏のある施設にしたのは、四十年ほど前の、ある大工さんとの出会いが縁となっています。買い求めてくださったお仏壇を納めに行った時、「それで納めたつもりでおるが、お文さん毎日読んどうるが、って言われ、びっくらしたんです。「八十通あるお文を朝晩三年間続けろ」と。お客さんの手前、どうか三年間続いたんです。そうしたらお仏壇とは仏様の教えを相にしたものだということに気づかされたんです。その



Hironori Katsumi / Kimihiro Katsumi
勝見博徳・喜巳博
(写真左) かつみ ひろのり/1939年生まれ。石川県在住。社会福祉法人加賀福祉会「ケアハウス和」理事長。金沢教区浄願寺門徒。
(写真右) かつみ きみひろ/1965年生まれ。同専務理事。2012年に得度、大谷派の僧侶となる。

石川県加賀市片山津温泉で福祉施設「ケアハウス和（やわらぎ）」を運営する勝見博徳さん、喜巳博さん親子がいます。施設にはお内仏を安置し、月に2回のお講、そして11月には報恩講を勤めています。参加者は施設の入居者、デイサービス利用者、近隣に暮らす法友、施設職員です。皆、その時間をとても楽しみにされているといいます。お内仏を大切にしてお年寄りの生活から教えられるのは、「生きるうえで本当に尊いこと」とは何か。そのことを尋ね続ける勝見さん親子の言葉から、私たちが生活の中で何をよりどころに生きているかを考えます。

すか。これだけ大きな規模の施設を始めるのは、かなりの決断が必要だったかと想像しますが。

喜巳博 仏壇店を続けながら、二〇〇一年に社会福祉法人を設立、ケアハウス事業を始めました。今はこの他に、民家利用型の施設「やわらぎ太子の家」（表紙写真）も開設しています。苦労があるのは当然ですが、はじめから全てをわかっていたら、決して始めなかつたと思います。

今、北陸でも、貸家には仏壇がない所が多いんですよ。仏壇よりも物入れというニーズばかりで、仏間がある物件は借り手がないそうです。

昔は、お仏壇の前が、家族が集まる場所でした。今は核家族化で、しかも新築にはお仏壇がない。これまでのようにお仏壇の前で子や孫に自然と伝わっていくことができなくなっています。

それは厳しい現実ですが、このままお内仏のある暮らしが消えていくのか。

「お内仏は亡き方のための場所」というならば、お墓もありますし、暮らしの変化によって消えていくでしょう。でも、私たちの先達が大切にしてきた「お内仏なしには生きること自体が成り立たない」

という点に立てば消えていくとは考えられません。このことは、大工さんに出遇った父から教えられたことであり、「和」に暮らすお年寄りから今も教えられていることです。

ケアハウスのように、お年寄りが暮らす場所が求められている時代です。これまでは家庭の中で仏法が相続されてきたのですが、時代状況は大きく変わりました。それをただ嘆くだけでなく、社会から求められているこの場所で、自分たちにできることから始めていこうと思つたのです。

——実際にやってみていかがですか。

喜巳博 お子さんやお孫さんが訪ねてくると、入居されている方がお内仏の前に連れて行き、「参つてき」と言つて、お孫さんやおひんをたたいている。そんなほほえましい場面が生まれています。そういうことも、やっぱりお内仏があることによつて、自然と生まれてくるんだと思うのです。

ケアハウスを場所として、仏法が相続されていくこともあるのだなと知らされています。

——大工さんに教えられたことを「和」という形で実践されているのですか。しかし、真宗門徒が多いと言われる北陸の地とはいえ、特定の宗派のお内仏を置くことにはためらいはなかつたのですか。

喜巳博 そうですね、私自身は真宗門徒ですが、いろんな方がいますので、当初はお内仏を置きませんでした。そのうちに聖徳太子は日本仏教の源流だからいいだ

飛鳥から、未来へ

飛鳥時代創業 社寺建築
剛金剛組

大阪市天王寺区四天王寺一丁目一四一・二九
支店 北海道・東京・名古屋・京都・九州

教行寺災害復旧工事
御寺院の新築・改修に関するご相談は ☎ 0120-054-731 まで

武田龍精著
真宗百論題の研究
一 三心一心論
二 十念誓意論
三 三願欲生論
四 聞信義相論
五 信願交際論
定価9975円税込

桑原浄昭著
領解文の味わい
定価2500円税込

円日成道著
神通の如意
定価2520円税込

中西智海先生 喜寿記念文書 法話篇
一色一光
定価2800円税込

600-8342 京都市下京区花屋町西洞院西入
永田文昌堂
FAX 0775-337111
電話 0775-337111
0775-337111
0775-337111
0775-337111
0775-337111



やわらぎ太子講の様子

「身体全体で、身をあげて聞いているんですね。私たちは「お念仏を称えればこうなる」とか「何かのために教えを聞く」とか、知らず知らずのうちに「お念仏や教えを「手段」としてはいいないか、そんなことを問

わろう、観音さんなら抵抗ないだろうと徐々に進めました。でも、施設を運営していく中で、どうしてもお内仏を置かないと何も始まらないと思うようになったのです。——それは何をよりどころとして生きるかという根源的問題に関わることですね。喜日博 お年寄りとして接していくうちに、仏さんを大切に生活するというのを目の当たりにしたのです。だから、施設内に誰でも手を合わせる事ができるご本尊がない状況にむしろ違和感を感じ始めました。

足が痛くて、歩くのさえしんどいような入居者の方が、まずご本尊に参つて、次に奉安されている聖徳太子に参るために、手押し車を押して渡り廊下を歩くお姿を折々見かけます。若い時はともかく、ある程度の年齢になると、できないことが日々多くなつてきます。でも、その現実の中で、仏さんがおいでることによって力を得ながら生活している人が、現におられるんですね。そういうお姿から、僕ら親子も若い職員も、「あの力はどこから湧いてくるのか」と考えさせられています。足が痛くて歩けないはずなのに、何であそこまでしてご本尊に参りに行つとるんやろうか、と。

博徳 耳がほとんど聞こえていないはずなのに、毎回一番前に座って聞いておいでる方もいるんですよ。——身体全体で、身をあげて聞いているんですね。私たちは「お念仏を称えればこうなる」とか「何かのために教えを聞く」とか、知らず知らずのうちに「お念仏や教えを「手段」としてはいいないか、そんなことを問

われているように感じます。——先ほど、「やわらぎ太子講」の様子を拝見しましたが、念仏総長と言われた暁鳥敏先生(一八七七〜一九五四)の十七条憲法講話を皆さんで声に出して読まれました。文章の内容は、とても難しいと思いましたが…。

本心に導くことと出会う

喜日博 声を出すのが健康にいいということもあるんですが、声に出したことをもう一回自分の耳で聞いてくださいって言っています。確かに難しい文章ですが、自分で読んで自分で聞くことを、やってみましょう。そう呼びかけたら、耳や目が衰えてきていても、皆さんそれぞれに読んでおられるんですね。実は、私自身も皆さんが内容を理解されているかどうかはわからないのです…。

——読めるか読めないか、わかる・わからないということよりも、大切だと思うことをやってみる。それはとても大事なことです。喜日博 どんな縁でもいいんですが、仏さんの前でそれぞれが本心に導くことに出遇っていく。ここにはいろんな宗派の方がおられるので、お太子さんの前で、南無阿彌陀仏の縁の方は南無阿彌陀仏。南無妙法蓮華経の縁の方は南無妙法蓮華経。それでいいですよと言っています。

——入り口はさまざまでも、それぞれの人がそれぞれの形で「本心に導くこと」に出遇う。それが勝見さんの願いの根本にあるんですね。喜日博 ここは病院ではないので、入居者の方が体調を崩されて入院することもありますが、そうするとお見舞いに行くんですが、その中で自分もこんな最期を迎えたいと思わされることもあります。死ぬ前の、苦しい状況ですから、掛け

る言葉なんかありませんよ。「苦しいか？」って聞くと、酸素マスクの下でうなずく。でも、日頃からお参りに参加してくれている方ならばもう一言、「南無阿彌陀仏だよ、わかるとるんやろ」と言うと、「ウン」ってうなずくんですよ。『死にたくない』と言って死ぬんじゃなくて、『南無阿彌陀仏だよ』という言葉に「ウン」と言つて死んでいく人がおいでるんです。お浄土においてるんやな、成仏の道歩んでおいでるんやなと感じます。全員というわけではないですけどね。これはすごいことだな。自分がそういう立場になったら、果たしてうなずけるかどうか…。

「和」の運営方針は「朋に学び 朋に成長する」です。私たちも、入居者やここで働く職員、また地域の方から教えられることがたくさんある。お内仏、仏様がいる場所が自然とそうさせてくれているのだと思います。

伝えられた願いが伝わっていく。——喜日博さんは昨年、僧侶となられた喜日博 僧侶になった直接のきっかけは、谷田暁峯先生が亡くなられたことです。私は僧侶になろうと思つていたわけではまったくないんです。谷田先生との縁から、この施設に聖徳太子のお言葉「和(やわらぎ)」という名がつけました。いろいろと仏法を教えていただき、特に十七条憲法についてお話いただきました。私も父もお育てをいただき、「和」の報恩講にも毎年法話に来ていただきました。

二〇一一年秋、谷田先生が主宰される大舎の報恩講の参詣御札の葉書に、『歎異抄』の「ただ念仏して、弥陀にたすけられまいらすべし」とあり、その脇に「二人出家すれば九族天に生まる」と書き添えてありました。「二人の念仏者が誕生すれば、その願いが自然と伝わっていき、また新たな念仏者が生まれる」、そんな意味だと受け止めています。

その葉書を頂戴して間もなく、谷田先生はお浄土へ還られました。これは「念

仏忘れまいぞ」という先生のご遺言かと。——谷田先生の姿と言葉に出遇つて、その願いが自分に伝わっていた。そしてそのことを大切にしていきたいという思いに自然となったんですね。喜日博 僧侶になろうという心が、自分の中から出てくるはずはないんです。だけど、僧侶になったということはきつとそういうことなんでしょうね。

11月に勤められる報恩講



※谷田暁峯 一九三三〜二〇一一年。暁鳥敏氏の弟子・林暁宇氏に師事した。会社員を経て大谷派教師となる(金沢教区明達寺衆徒)。石川県の自宅を自らの開法道場(大舎)として人々と共に教えに聞き続けた。

11月に勤められる報恩講



仏教がみちびく、あらたな人生

同朋 大好評 発売中

親しみやすい誌面で、読む楽しさ・見る楽しさをお届けします。まだご購読していない方は、ぜひお申し込みください。

4月号のラインナップ

インタビュー 春風亭昇太さん(落語家)

特集 次世代へ「継ぐ」

【対談】尾木直樹さん × 脇淵徹映さん
(教育評論家) (公益社団法人 大谷保育園理事長)

その他、仏教・仏事のことばを紐解くページや東本願寺のある街、京都の魅力を紹介するコーナーなど盛りだくさん!

ご注文・お問い合わせは TEL:075-371-9189、または本紙8面下参照。

年間購読3,600円(税込・送料込) 1冊300円(税込・送料別)

梵鐘・銅像・法水鉢

七百五十回御遠忌記念に親鸞聖人御尊像をお迎えしましょう
(カタログ謹呈致します)

京都 東本願寺様前 蓮の噴水 (昭和23年納入)

株式会社 金壽堂 鑄匠 黄地佐平

400年ぶりに改鑄された御本山新梵鐘 (5尺2寸弊社鑄)

本社工場 〒527-0122 滋賀県東近江市長町273番地
TEL (0120) 45-0503 電話 (0749) 45-0003
FAX (0749) 45-0505 http://www.kinjudo.jp